

マテリアリティ（重要課題）とKPI

マテリアリティ （重要課題）		目指す姿と主要な取り組み	KPI・目標	推進責任組織	目標		
					25年	26年	27年
E 環境	環境負荷低減と脱炭素社会実現への貢献	当社は産業用冷凍・冷蔵機器メーカーとして、ライフサイクル全体でのGHG排出量削減に注力し、自社およびお客さまの環境負荷低減を図ることで、脱炭素社会の実現に貢献すると考えています。また、製品開発のリードタイム短縮を目指し、評価試験の制御自動化・無人運転を推進することで、さらなる市場投入の迅速化とGHG排出量削減効果の最大化を目指しています。 ・事業活動によるGHG排出量の削減 ・製品評価試験の制御自動化と運転無人化の実現	GHG排出量（スコープ1、2）※1	環境対策委員会	7,150t-CO ₂	6,720t-CO ₂	6,290t-CO ₂
			圧縮機の試験期間	技術企画本部	▲8%	▲15%	▲25%
					(いずれも23年比)		
S 社会	一人ひとりがいきいきと活躍できる職場環境の実現	当社は、さまざまな経験や知識が組み合わされることで、市場理解力や問題解決力を向上させ、従業員が自分らしさを発揮できるキャリアと働き方の実現を目指しています。また、多様な能力を有する人材を採用し、個々の価値観や背景を尊重し、性別を問わず公平な機会を提供することで、従業員一人ひとりが高いエンゲージメントを維持しながら活躍できる職場の実現を目指しています。 ・従業員のエンゲージメント向上 ・健康経営の推進 ・ライフステージの変化に応じて活躍できる柔軟な働き方の整備 ・多様な人材の活躍	従業員エンゲージメントスコア	コーポレート本部	2023年を基点（=0）としたスコア改善幅		
			アブセンティズム/プレゼンティズム※3	コーポレート本部	+3 ※2	+5	+7
			男性の育児休業取得率	コーポレート本部	3.0日/78%	2.5日/79%	2.1日/80%
			課長補佐の女性登用者数	コーポレート本部	100%		
	安全水準の向上と品質の確立	当社は、安全で衛生的な職場環境を維持し、労働災害の防止に努めています。特に、製造・施工・メンテナンスサービスの現場においては、法令、社内基準、安全行動計画等を遵守し、労働災害に向けた対策を実施しています。また、品質マネジメントシステムを品質管理の基本とし、適正な品質管理を徹底し、品質起因の不具合の撲滅に努めています。 ・類似災害の再発防止 ・品質管理能力の向上	休業災害度数率	コーポレート本部	0.2以下 （休業1日以上労働災害による死傷者数：1名以下）		
			トラブルクレーム費用の対売上比率 ※4	品質保証センター	2014年を基点（=1）とした指数：0.40以下		
G ガバナンス	サステナブル調達	当社は、安全・安心かつ高品質な製品・サービスを提供するとともに調達先と相互の信頼関係を構築し、お互いに協力して地球環境の保全・環境への配慮、安全衛生の確保と従業員の心身の健康保持・増進活動を支援することを目指しています。 ・ESG課題に配慮したサプライヤーからの持続可能な安定調達の推進	主要サプライヤーへのサステナビリティアセスメントシート回答率	購買本部	50%以上	60%以上	70%以上
	持続的な成長を支える経営基盤の強化	当社は、法令遵守と倫理的企業運営を徹底し、信頼性と毀損防止を目指すガバナンスを強化しています。情報セキュリティ対策やシステムを活用した業務管理体制の整備とリスク低減策の実施によりリスクを最小化し、変化する市場環境に柔軟に対応して長期的な企業価値向上を図ります。 ・コンプライアンスの浸透と意識の向上 ・情報セキュリティ対策の強化と教育 ・リスク管理体制の強化とリスク低減策の徹底 ・システム運用による法的関連業務の円滑な管理体制の確立	コンプライアンス講習会受講率	コンプライアンス委員会	100%		
			情報セキュリティロードマップ実施率	情報セキュリティ委員会	100%		
			リスク低減策の実施率	リスク管理委員会	100%		
			法定登録申請管理システムの運用定着	高圧ガス等法規関連対策委員会	50%	70%	80%

※1：スコープ1 自社の事業活動からの直接的な温室効果ガスの排出

スコープ2 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接的な温室効果ガス排出

※2：eNPS（Employee Net Promoter Score：従業員が自分の職場を家族や友人にどれだけ勧めたいかを測る指標）を測定し、2023年を基点としてスコア改善幅をしたもの

※3：アブセンティズム 当社で実施している健康意識調査の結果。1年間に自分の病気で休んだ日数の平均値

プレゼンティズム 当社で実施している健康意識調査の結果。病気がケガがないときに発揮できる仕事の出来を100%としたときの平均値

※4：トラブルクレーム お客さまに引き渡した後に発生した、製品やプラント装置などの不具合への対応